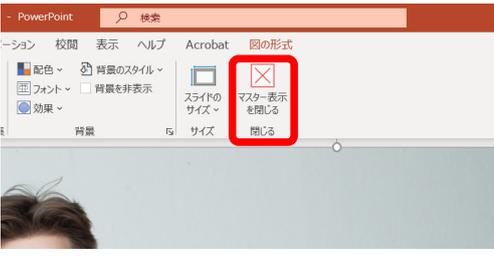
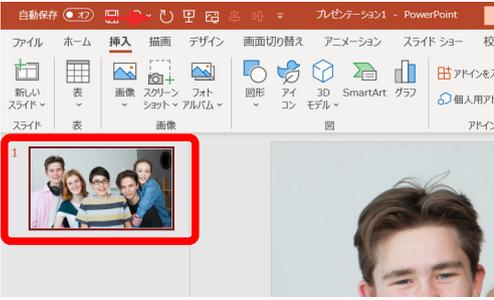
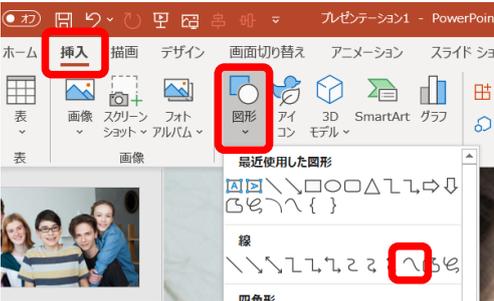
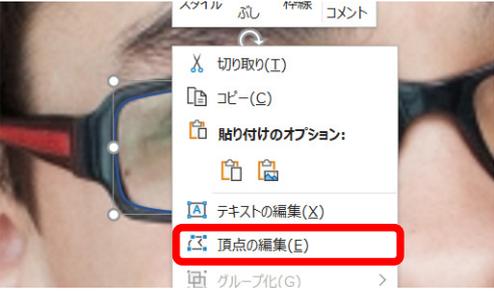
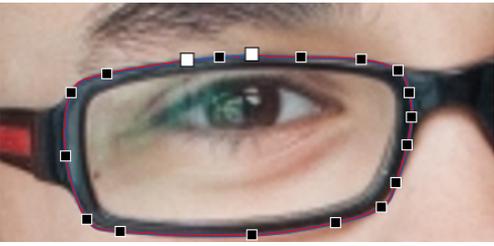
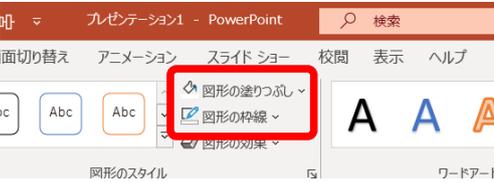


眼鏡☆キラーン

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2005 で書かれています

<p>1</p>		<p>眼鏡をかけてる人がいる画像を挿入 or 貼り付け。</p> <p>「Ctrl」 + 「X」 キーで、画像を切り取り。</p>
<p>2</p>		<p>「表示」 → 「スライドマスター」。</p>
<p>3</p>		<p>「Ctrl」 + 「V」 キーで、貼り付け。</p> <p>「マスター表示を閉じる」。</p>
<p>4</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルをクリックし、</p> <p>「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。</p>
<p>5</p>		<p>「Ctrl」 キーを押しながら、マウスホイールを回転させて、眼鏡の部分を拡大。</p>
<p>6</p>		<p>「挿入」 → 「図形」 → 「曲線」。</p>

7		<p>眼鏡のフレームをクリックしながら、図形を描きます。</p> <p>このとき、フレームの外側の線を目安にレンズより一回り大きな形にします。</p>
8		<p>「図形の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。</p> <p>「図形の枠線」→「太さ」→「0.5pt」。</p>
9		<p>図形の上で右クリックし、「頂点の編集」。</p>
10		<p>頂点を移動したり、ハンドルの長さや角度を変えたりして、形を整えます。</p>
11		<p>「図形の塗りつぶし」→「白」。</p> <p>「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>
12		<p>同じように、手順6～11で、反対側も作りましょう。</p>

13



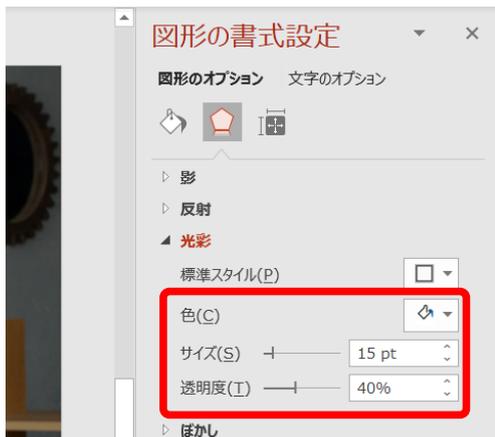
「Shift」キーを押しながら、両方の図形を選択し、「図形の効果」→「ぼかし」で、図形のサイズがレンズの大きさになるくらいのぼかしをかける。

14



「図形の効果」→「光彩」→「光彩のオプション」。

15

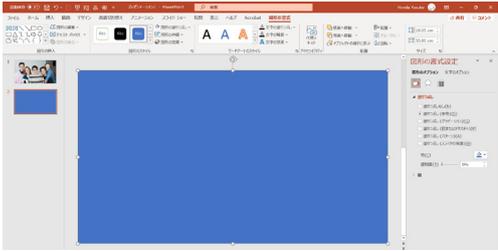
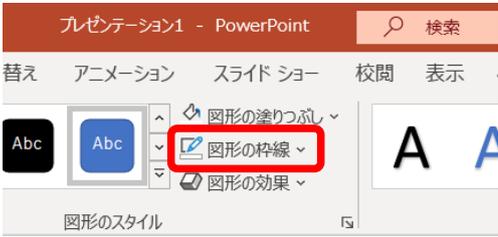
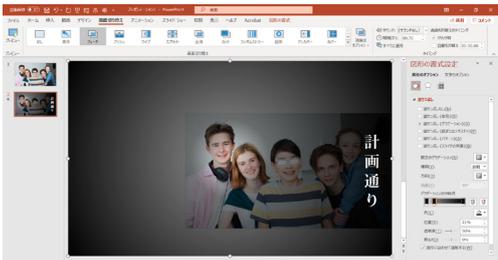


画面右に「図形の書式設定」ウィンドウが出るので、「光彩」の「色」→「白」。「サイズ」と「透明度」を適当に調整。

16



「挿入」→「図形」→「正方形/長方形」。

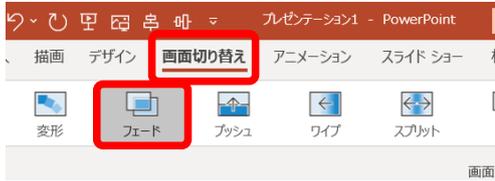
17		スライドいっぱいには四角形を描きます。
18		「図形の枠線」→「枠線なし」。
19		「図形の書式設定」ウィンドウで、「塗りつぶし (グラデーション)」をオン。「種類」→「放射」。「方向」→「中央から」。
20		「グラデーションの分岐点」の真ん中の分岐点を選択し、削除。
21		3つの分岐点の「色」を「黒」。 透明度を左から「100%」「50%」にし、真ん中の分岐点の位置を調整。
		眼鏡をかけている人物が中央にいないときは、グラデーションの四角形を大きくして移動させ、グラデーションの真ん中の分岐点を調整して、焦点を合わせます。

22



お好みでテキストを入力。

23



「画面切り替え」→「フェード」。

24



「F5」キーでスライドショーを観てみましょう。
クリックすると、眼鏡がキラーンと光ります。